

北海道大学

今枝文部科学副大臣が視察

今枝宗一郎文部科学副大臣は12月26日、北海道大学を視察した。副大臣による視察には、文科省から清浦隆科学技術・学術政策局担当審議官、大月光康研究振興戦略官、西山崇志基礎・基盤研究課長、俵幸嗣医学教育課長ら10名が同行した。

今枝副大臣は最初に、ワクチン研究開発拠点(IVReD)と化学反応創成研究拠点



ICReDDでの意見交換



スタートアップについての意見交換

(ICReDD)を視察。それぞれの拠点において、澤洋文拠点長、前田理拠点長から当該拠点の概要説明があった後、活発な意見交換が行われた。次に、同大内のFMI国際拠点に場を移し、北大発スタートアップ企業である(株)メカノクロス、(株)G&S(株)、大熊ダイモンドデバイス(株)、(株)調和技研の4社からそれぞれ会社の概要説明があった後、活発な意見交換が行われた。

昼食をとりながらの意見交換では、北海道大学側からは資金清博総長ら役員が参加した

ほか、北海道経済連合会の藤井裕会長、札幌商工会議所の岩田圭剛会頭も参加し、産学連携及びスタートアップを中心とした議論が展開された。

今枝副大臣はその後、北海道大学病院陽子線治療センターを視察。崑山鎮次医学研究院長及び渥美達也北海道大学病院長と「大学院の医師確保」「医師の博士課程進学」などの諸課題について活発な意見交換を行った。

北海道教育大学

札幌市教委との「対話の場」

北海道教育大学は12月14日、札幌市教育委員会会議室で、札幌市教委との意見交換会「対話の場」を開催した。

意見交換会は、両者が連携協定に基づき行っている各種事業に加え、教職の魅力向上や魅力ある学校づくりのための取り組みなどについて、双方で認識を共有し、より一層の協働を推進していくことを目的に、2019年



冒頭挨拶する田口学長(中央)

度から開催しているもの。当日は、札幌市教委から榎田英樹教育長ほか12人、同大からは田口哲学長ほか11人が出席した。榎田教育長、田口学長からの挨拶の後、同大が推進する教師としての資質能力向上を図るスパイラル型カリキュラムや教員研修の高度化に資するモデル開発、札幌市教委が推進する教員の養成・

採用・研修の取り組み等についてそれぞれ説明があり、それを踏まえた意見交換が行われた。

教員採用試験の実施状況、高校生の段階からの教員志願者獲得に向けた取り組み等について活発な議論が行われ、連携を密にして課題に取り組んでいくことを確認した。

プロジェクト第3弾

地元産品で地域と弘大生つなぐ

弘前大学は12月11日から5日間、「地元産品で地域と弘大生をつなぐプロジェクト【第3弾】」を実施した。

これは、弘前大と包括連携協定を結んでいる県内市町村(17市町村)が、地元産品や観光資源などの各市町村の魅力を伝え、産品の消費拡大、旅行者の増加、将来的な関係人口の増加につなげることを目的に、各市町村選りすぐりの地元産品を活用したPRプロジェクト。今回は、学生食堂等で地元産品を活用したメニューを低価格で提供した。

会場には多くの学生が訪れ大盛況となった。学生からは「実際にやってみたい」「より一層青森に対して愛着をもつきっかけになった」「値段もリーズナブルでとても満足」など感謝と喜びの声が上がり、食支援にも資するプロジェクトとなった。